

---

---

# 景 気 動 向 調 査 結 果

— 令和2年第Ⅱ四半期（4月～6月期）分 —

---

---

令和2年8月

高山市商工観光部商工課

## 調査の概要

- 1 調査方法 調査対象を事業所統計調査のデータより無作為抽出（層化抽出）し、郵送の方法によるアンケート調査
- 2 調査対象 市内の企業 500社
- 3 調査時期 令和2年 7月上旬
- 4 回収状況 配布数 500社  
有効回収数 193社 (有効回収率 38.6%)

### ※ 業種別回収状況

建設・土木業	37社	(44.0%)
製造業	35社	(37.6%)
卸売・小売業	38社	(37.3%)
飲食業	28社	(35.4%)
旅館業	28社	(35.4%)
その他	27社	(42.9%)

---

計 193社 (38.6%)

※・農林水産業は、調査していない。

・その他の業種は、「サービス（旅館業除く）・運輸通信・金融保険・不動産業」をいう。

### 【参 考】

D I (Diffusion Index) 値

D Iとは、デフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各項目ごとの「増加（上昇・好転・長期化）企業割合」と「減少（低下化・短期化）企業割合」の差を示すものです。「上昇（増加など）の割合 - 下降（減少など）の割合」

## ・はじめに

令和2年7月に実施しました、景気動向調査（令和2年4月～6月期）の結果について、とりまとめましたのでご報告いたします。

## ・概況

### ・販売（売上）の動向

前年同期比の産業全体の販売高D I値は▲79.2となり、前回（▲61.8）より17.4ポイント減少した。

前期比のD I値は▲65.0で、前回（▲59.5）より5.5ポイント減少した。

### ・景気の動向

今期の景気動向について、前期比のD I値は▲64.9となり、前回（▲64.8）より0.1ポイント減少した。

また、来期見込のD I値については、今期より28.9ポイント増加し、▲36.0となっている。

### ・雇用の状況

今期の雇用している人員が「過剰」と回答した事業所の割合は31.1%で、前回（30.2%）より0.9ポイント増加し、「不足」と回答した事業所の割合は17.4%で、前回（22.4%）より5.0ポイント減少した。

来期について「過剰」と回答した事業所の割合は25.8%で、今期の雇用状況と比較すると5.3ポイント減少している。「不足」と回答した事業所の割合は21.0%で、今期の雇用状況と比較して3.6ポイント増加している。

有効求人倍率については、6月期で1.00となっており、前回調査3月期（1.35）と比較すると0.35ポイント減少している。

### ・設備投資

今期「設備投資をした」と回答した事業所の割合は22.6%で、前回（22.8%）と比較して0.2ポイント減少した。また、向こう1年間の計画については、「設備投資を計画している」と回答した事業所の割合が27.0%で、前回調査（27.0%）からは変わっていない。

# 1. 販売（売上）の状況

前年同期比の販売高D I 値、前期比の販売高D I 値は共に減少傾向

## 1-1 前年同期比

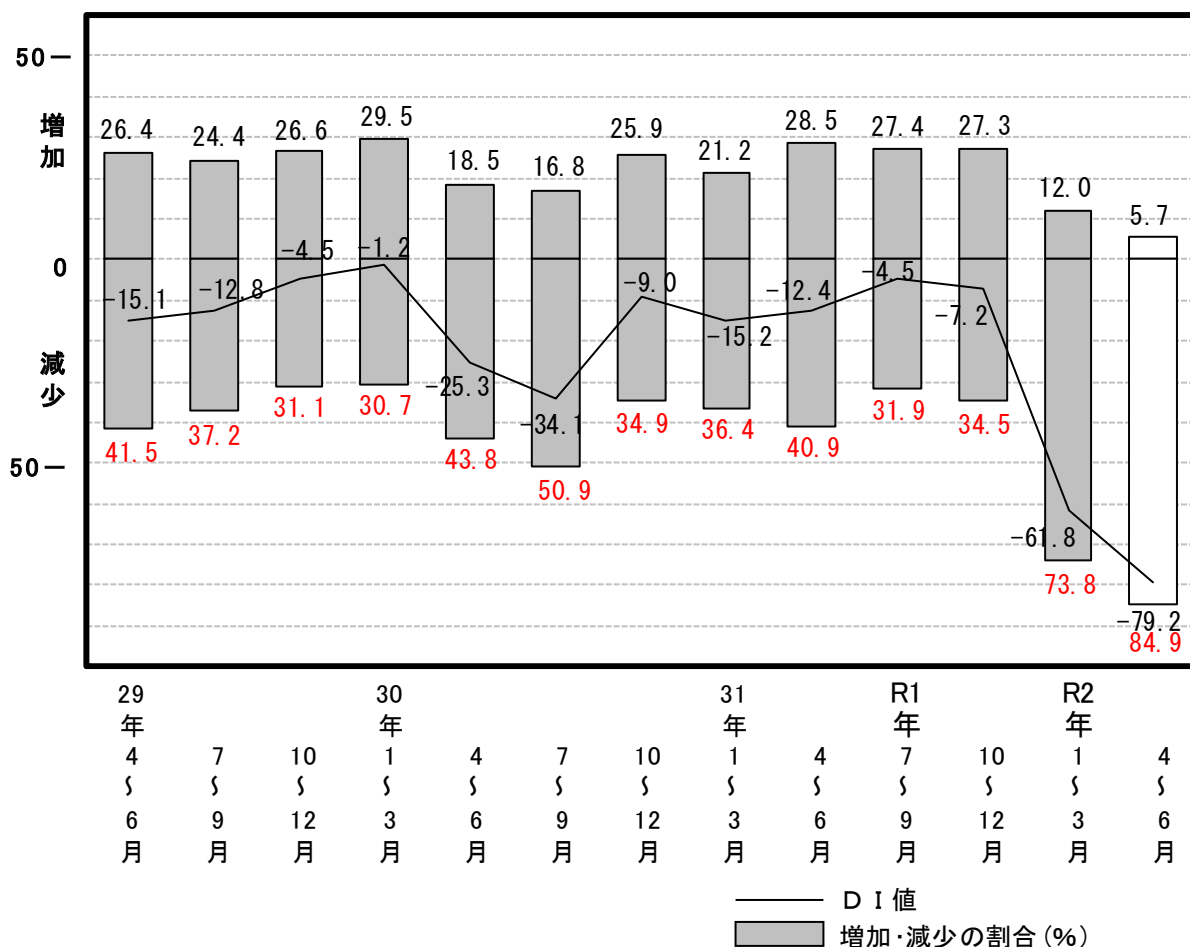
販売高が前年同期と比較して、「増加した」と回答した事業所の割合は5.7%で前回(12.0%)より6.3ポイント減少し、「減少した」と回答した事業所の割合は84.9%で前回(73.8%)より11.1ポイント増加した。その結果、今期の販売高D I 値は▲79.2となり、前回(▲61.8)より17.4ポイント減少した。

(第1図 参照)

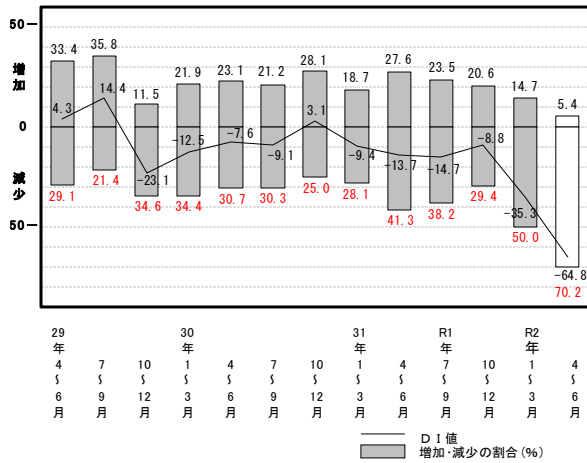
業種別のD I 値を分析すると、前回と今回ともに▲100となった「飲食業」を除く全ての業種において、前回調査よりも減少している。

(参考図 販売高D I 値の推移(各業種 前年同期比) 参照)

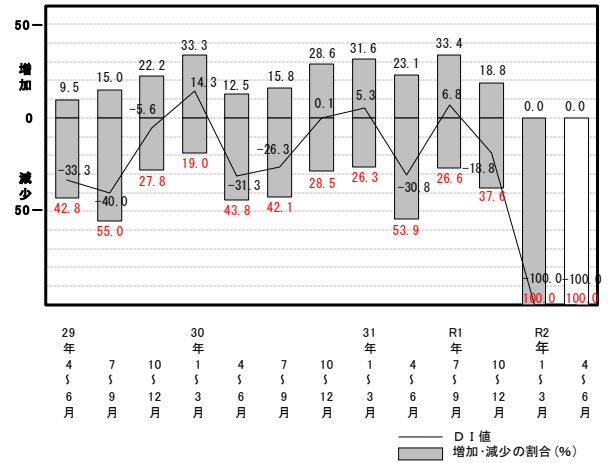
第1図 販売高D I 値の推移(前年同期比)



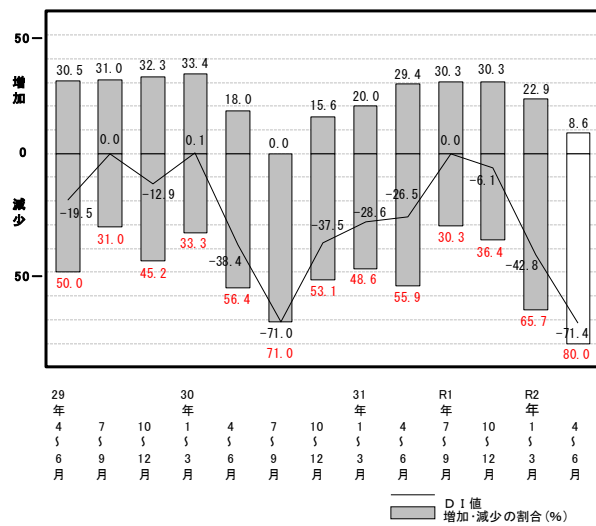
参考図 販売高D I 値の推移（建設・土木業 前年同期比）



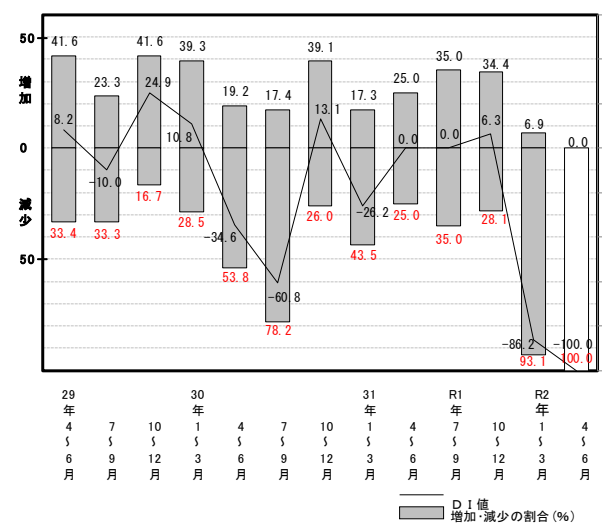
参考図 販売高D I 値の推移（飲食業 前年同期比）



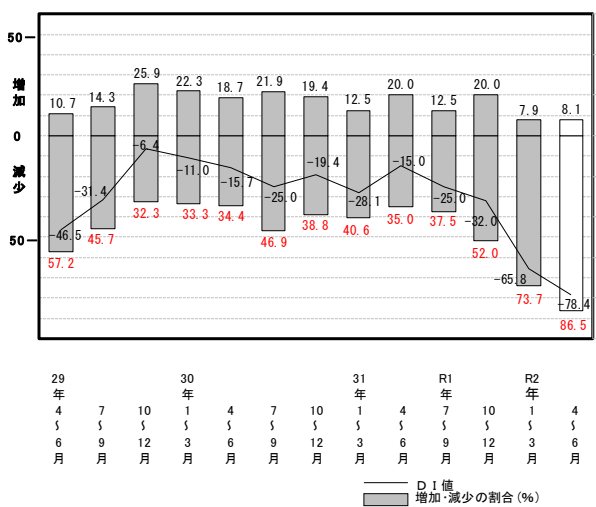
参考図 販売高D I 値の推移（製造業 前年同期比）



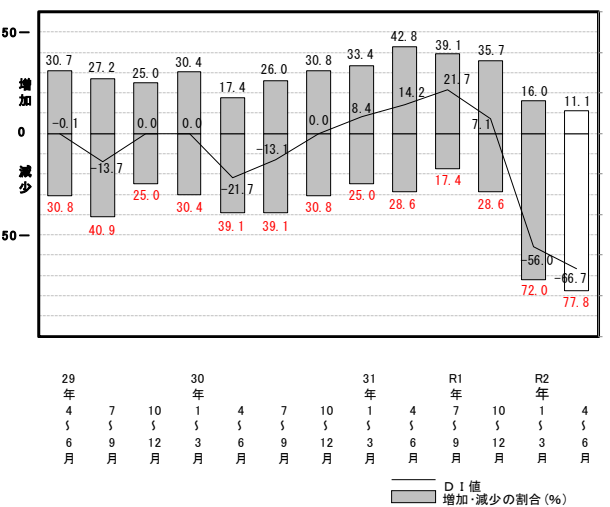
参考図 販売高D I 値の推移（旅館業 前年同期比）



参考図 販売高D I 値の推移（卸売・小売業 前年同期比）



参考図 販売高D I 値の推移（その他 前年同期比）



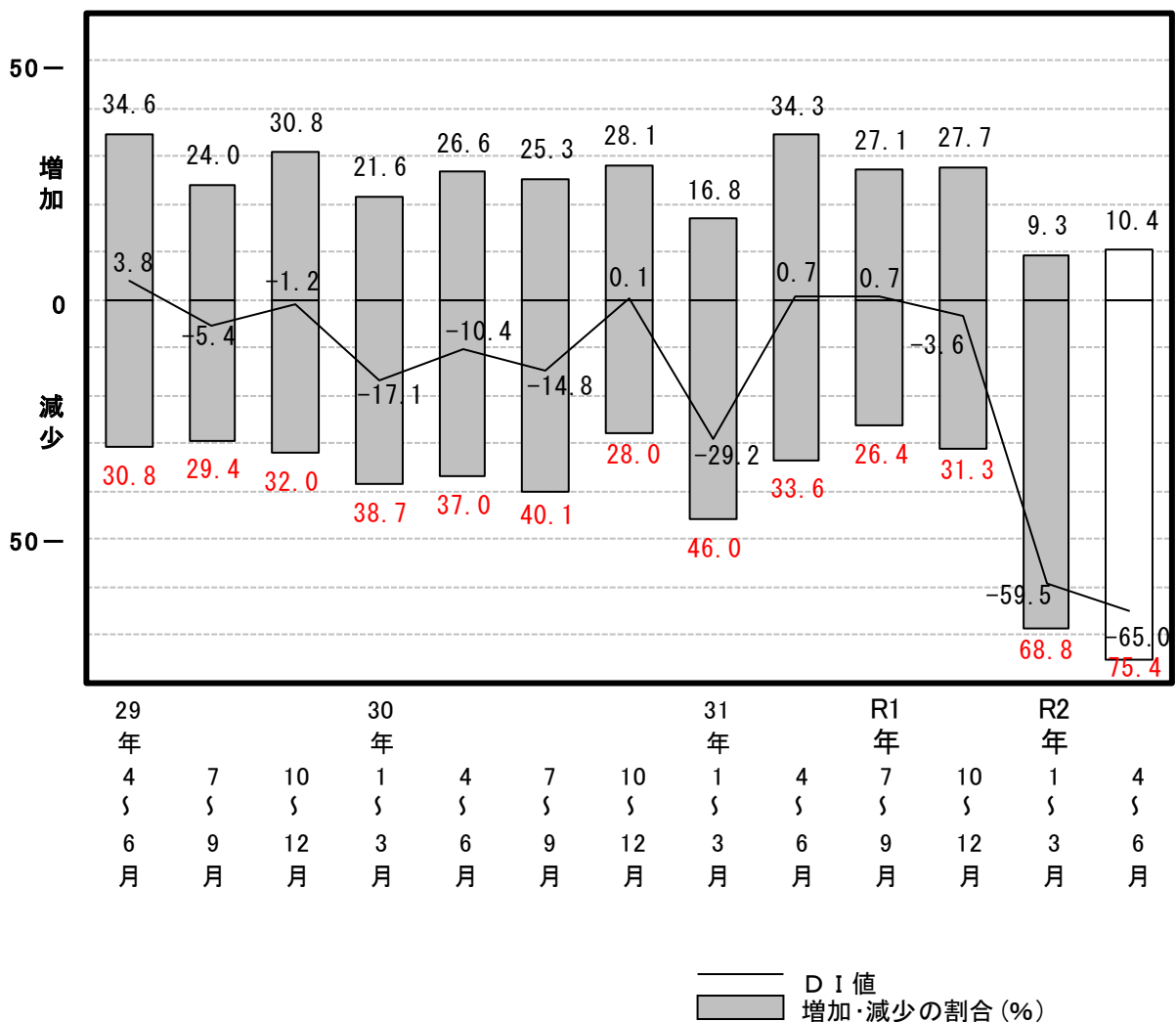
## 1-2 前期比

販売高が前期と比較して、「増加した」と回答した事業所の割合は10.4%で前回(9.3%)より1.1ポイント増加し、「減少した」と回答した事業所の割合は75.4%で前回(68.8%)より6.6ポイント増加した。その結果、今期のD I値は▲65.0となり、前回(▲59.5)より5.5ポイント減少した。(第2図 参照)

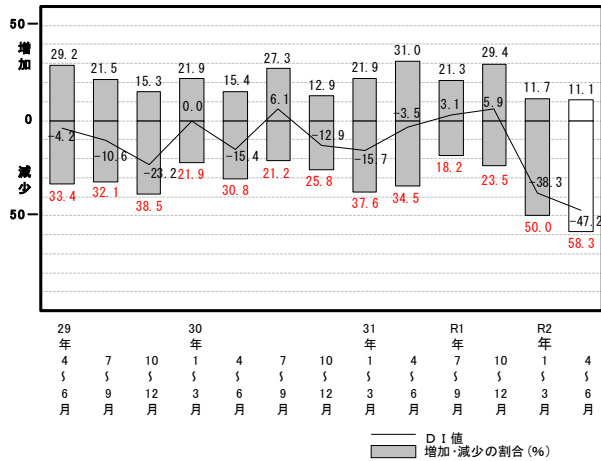
業種別のD I値を分析すると、「旅館業」、「その他」の業種を除く全ての業種において、前回調査よりも減少している。

(参考図 販売高D I値の推移(各業種 前期比) 参照)

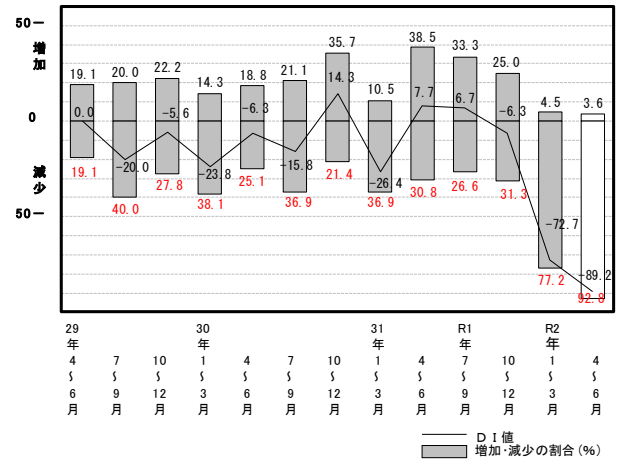
第2図 販売高D I値の推移(前期比)



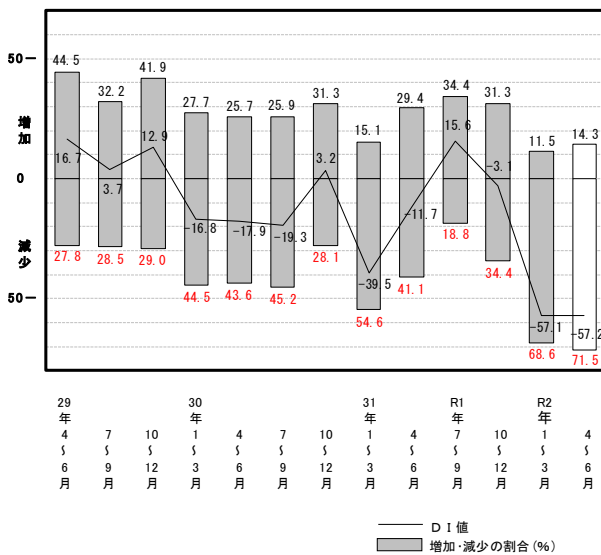
参考図 販売高DI値の推移（建設・土木業 前期比）



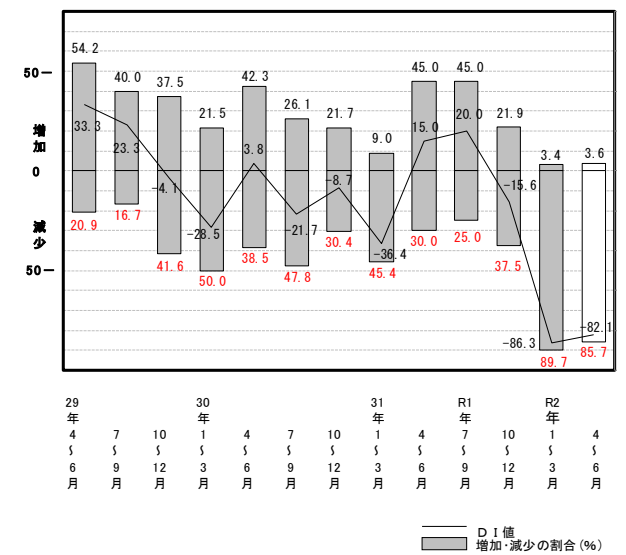
参考図 販売高DI値の推移（飲食業 前期比）



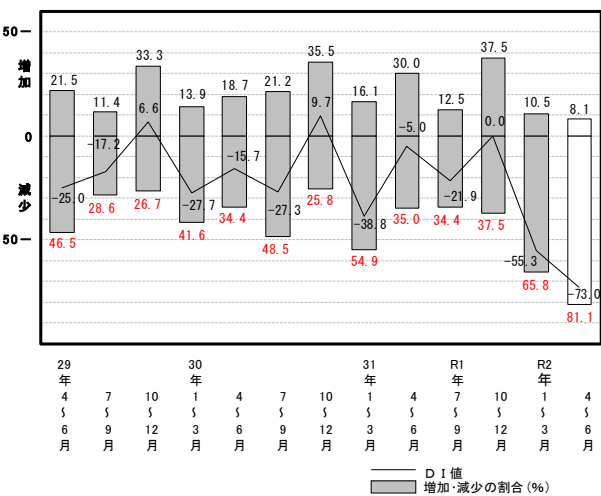
参考図 販売高DI値の推移（製造業 前期比）



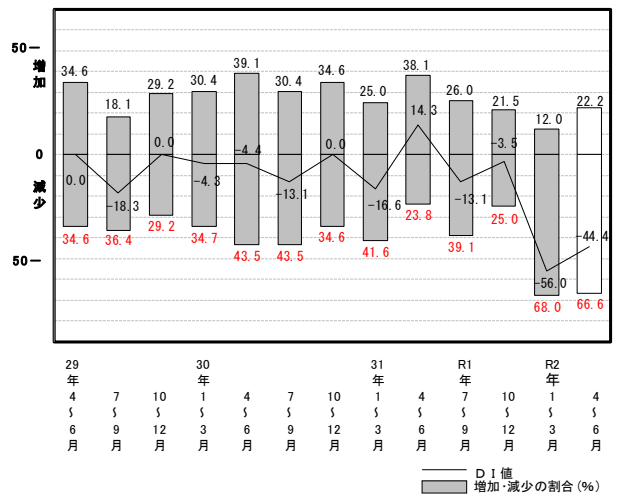
参考図 販売高DI値の推移（旅館業 前期比）



参考図 販売高DI値の推移（卸売・小売業 前期比）



参考図 販売高DI値の推移（その他 前期比）



## 2. 景気の動向（自社の景気）

### 景気動向の今期のD I値は減少、来期見込のD I値は増加傾向

自社の景気動向について今期のD I値をみると、産業全体としては▲64.9となり前回（▲64.8）より0.1ポイント減少した。（第3図 参照）

前回調査時における来期見込のD I値は▲67.3（2.5ポイント減少見込）であったことを踏まえると、今期は前回調査時に予測していたよりも、景気が悪化しなかったと考えられる。

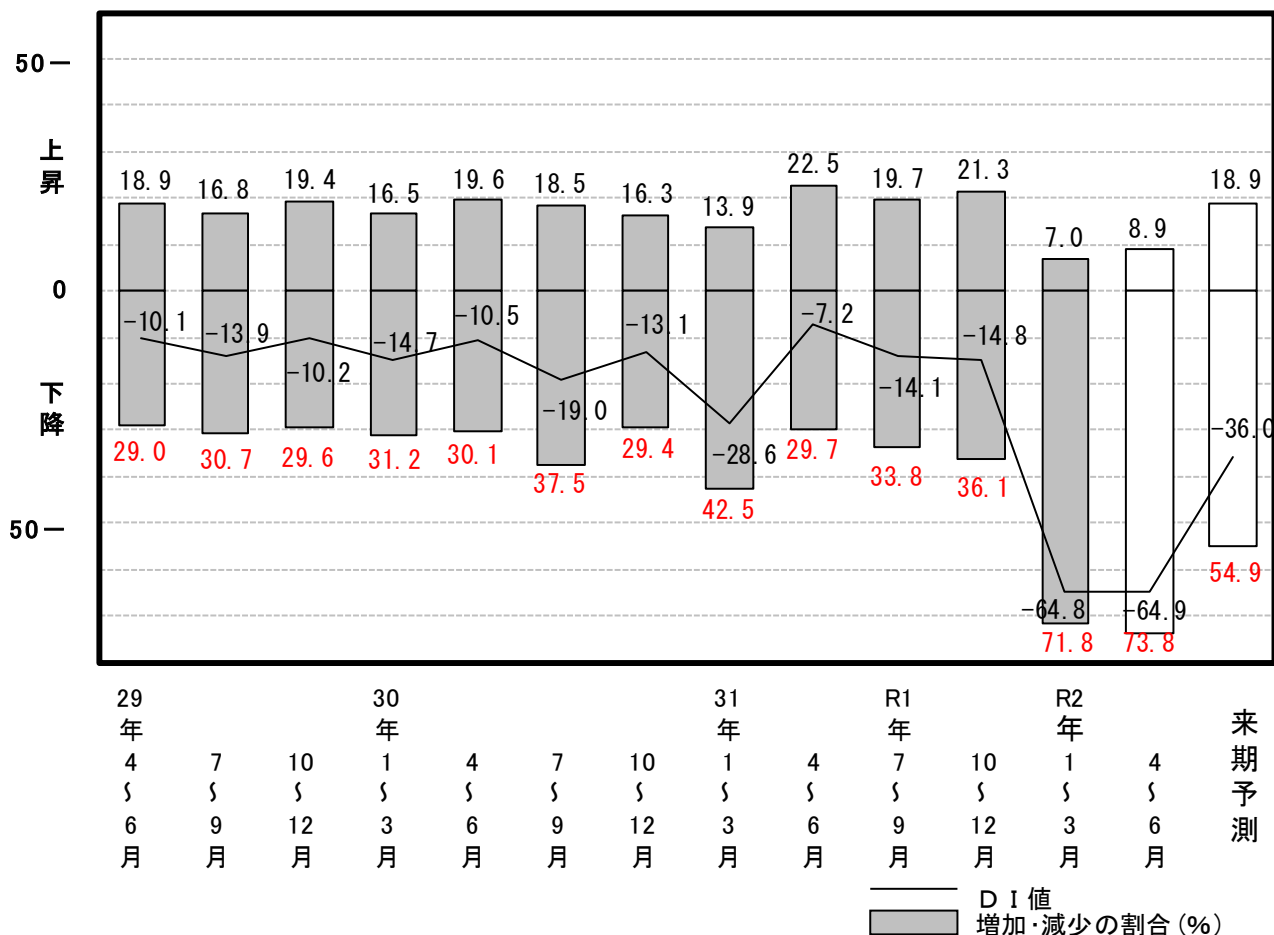
また、来期見込（今期比）のD I値は▲36.0で今期値より28.9ポイント増加しており、今期よりも改善する見込みであると考えている事業所の割合が多い。

業種別のD I値を分析すると、「建設・土木業」「飲食業」の業種において、前回調査よりも減少している。

また、来期予測に関しては、全ての業種において改善すると予測している。

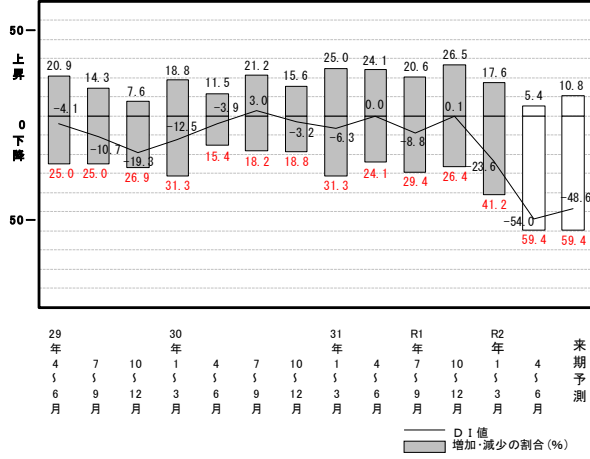
（参考図 景気D I値の推移（各業種） 参照）

第3図 景気D I値の推移（全体）

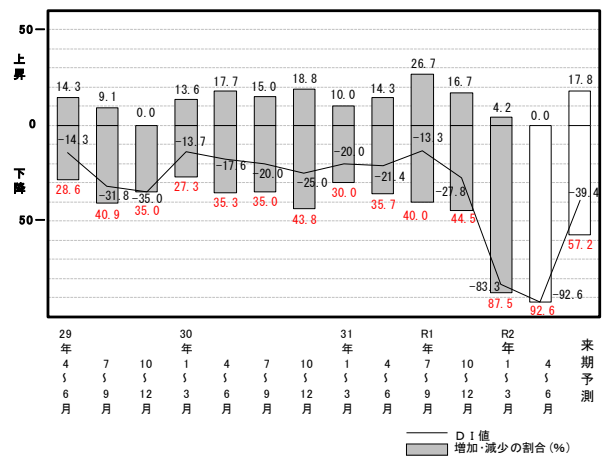




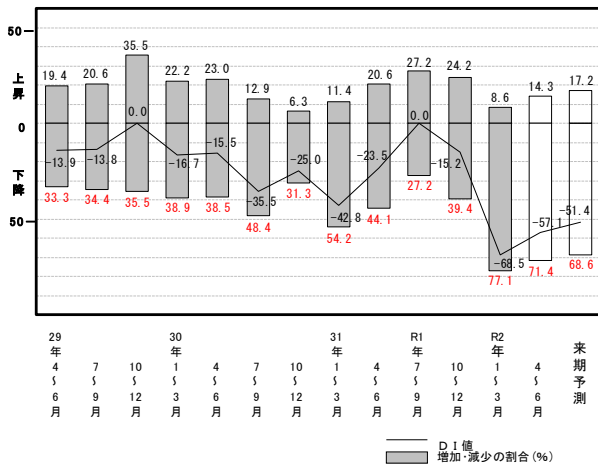
参考図 景気DI値の推移（建設・土木業）



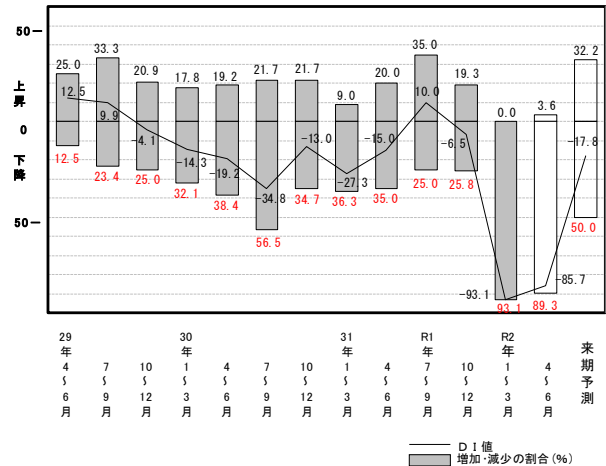
参考図 景気DI値の推移（飲食業）



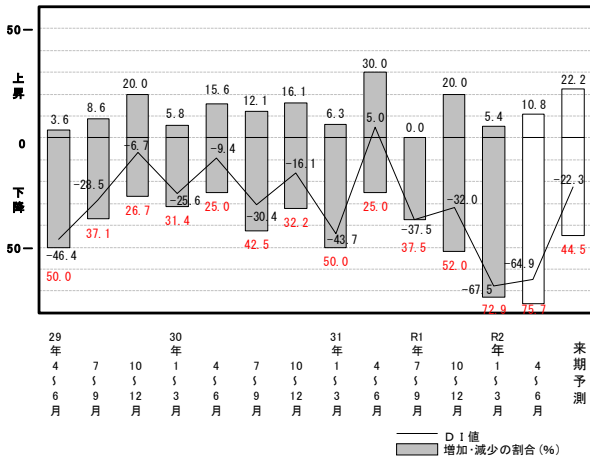
参考図 景気DI値の推移（製造業）



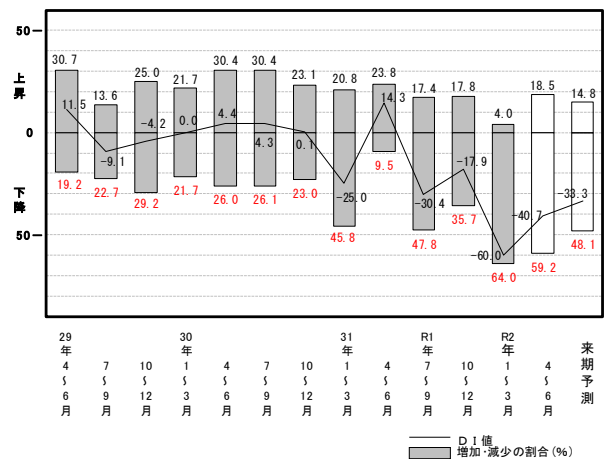
参考図 景気DI値の推移（旅館業）



参考図 景気DI値の推移（卸売・小売業）



参考図 景気DI値の推移（その他）



### 3. 雇用の状況

#### 雇用状況の「過剰感」は増加、「不足感」は減少傾向

今期において、雇用している人員が「過剰である」「やや過剰である」と回答した事業所の割合は31.1%で、前回（30.2%）より0.9ポイント増加し、「不足している」「やや不足している」と回答した事業所の割合は17.4%で前回（22.4%）より5.0ポイント減少した。

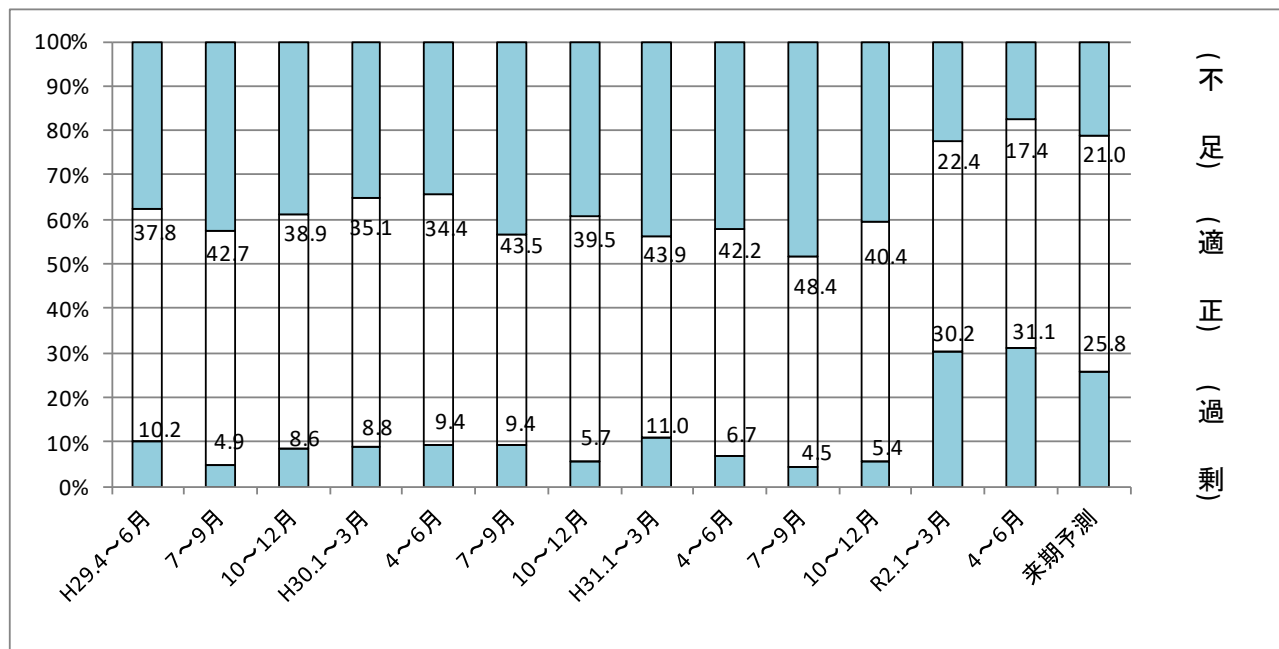
来期予測に関しては、「過剰」が25.8%で今期より5.3ポイント減少、「不足」が21.0%で今期より3.6ポイント増加している。（第4図 参照）

業種別の数値を分析すると、今期は「建設・土木業」「卸売・小売業」「飲食業」の業種において「過剰」と回答している事業所の割合が増加し、「建設・土木業」「卸売・小売業」「旅館業」の業種において「不足」と回答している事業所の割合が増加している。

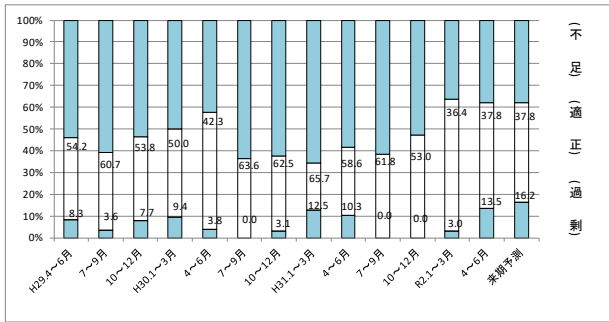
来期予測に関しては、「建設・土木業」「その他」を除く全ての業種において「過剰」と予測する事業所の割合が減少し、「製造業」「旅館業」「その他」において「不足」と予測する事業所の割合が増加している。

（参考図 雇用の状況の推移（各業種） 参照）

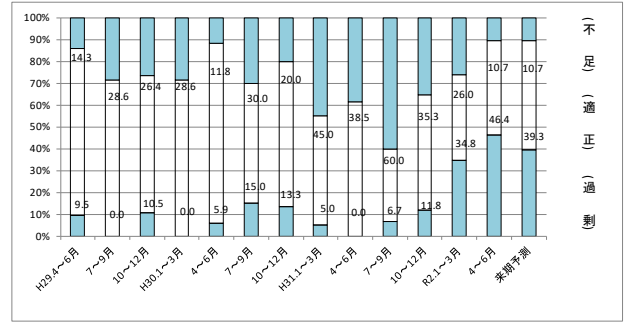
第4図 雇用の状況の推移（全体）



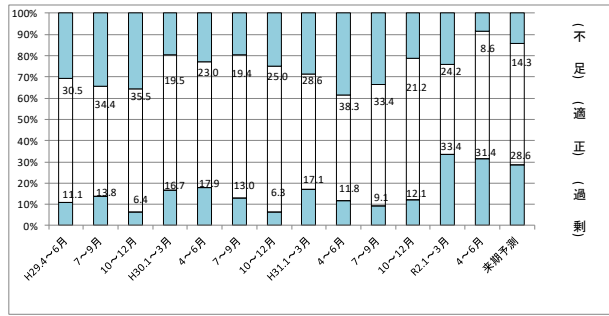
参考図 雇用の状況の推移（建設・土木業）



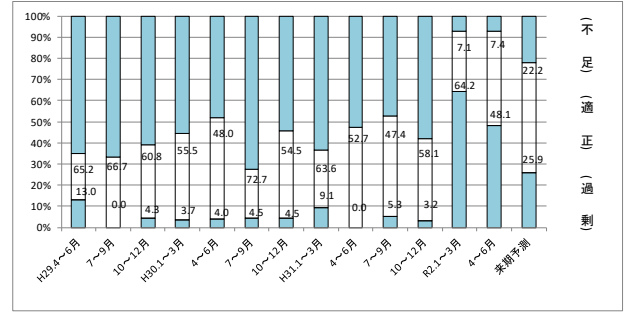
参考図 雇用の状況の推移（飲食業）



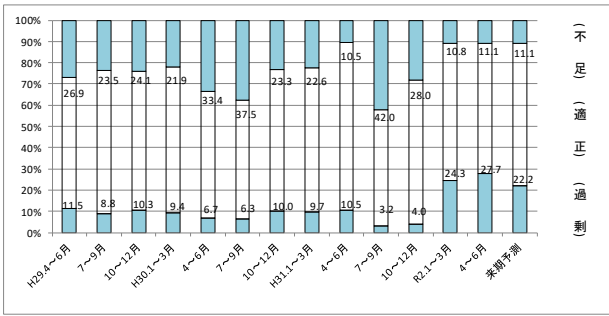
参考図 雇用の状況の推移（製造業）



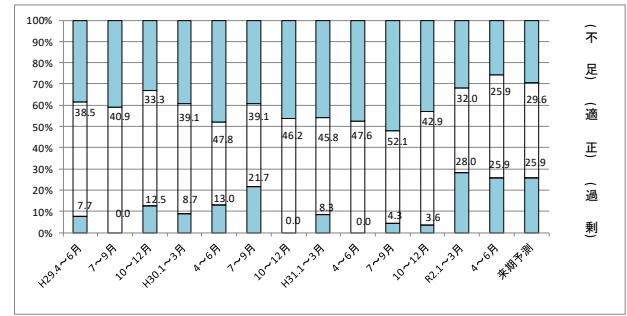
参考図 雇用の状況の推移（旅館業）



参考図 雇用の状況の推移（卸売・小売業）



参考図 雇用の状況の推移（その他）



#### 4. 設備投資

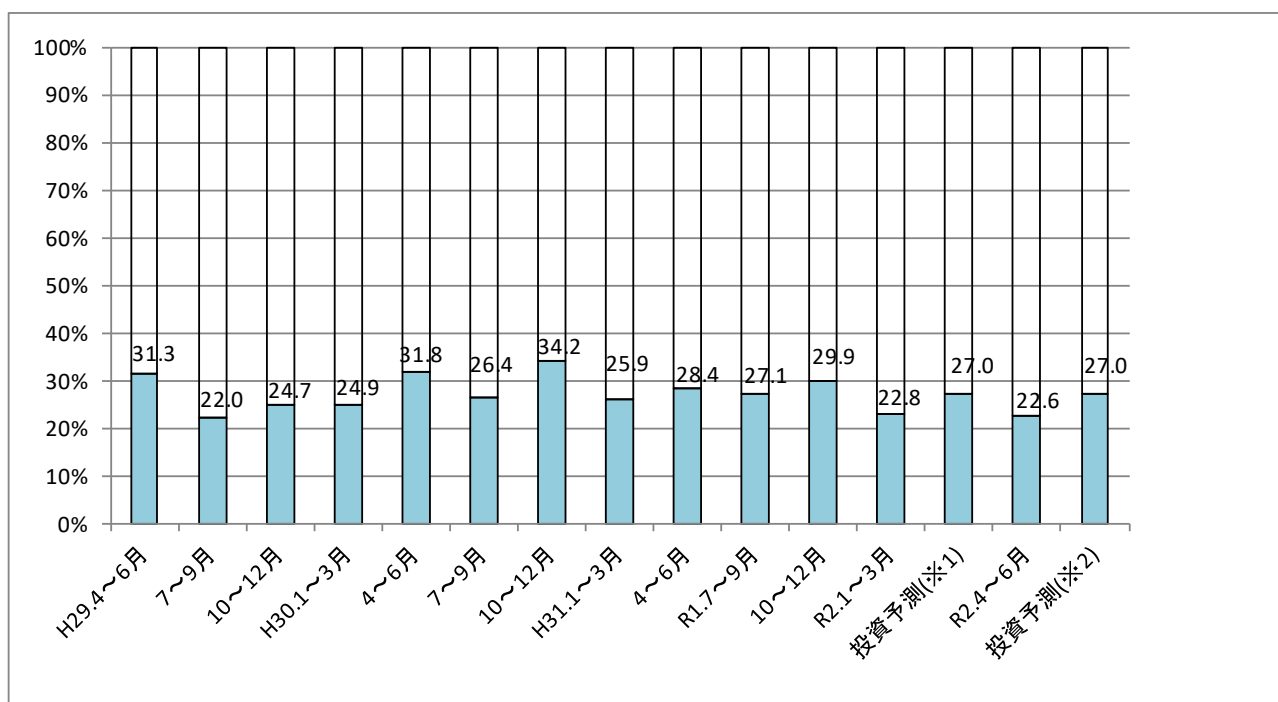
設備投資を行った事業所は減少、来期以降の設備投資計画は横ばい

今期「設備投資をした」と回答した事業所の割合は22.6%で、前回（22.8%）より0.2ポイント減少した。（第5図 参照）また、向こう1年間の計画については、「設備投資を計画している」と回答した事業所の割合は27.0%となっており、前回調査時の予測値（27.0%）と変わらなかった。

業種別にみると、今期「設備投資をした」と回答した事業所の割合は、「製造業」「飲食業」「その他」の業種において、前回調査の予測値を下回っている。また、向こう1年の投資計画は、「建設・土木業」「卸売・小売業」「旅館業」の業種において、前回調査の予測値を上回っている。

（参考図 設備投資の推移（各業種） 参照）

第5図 設備投資の推移（全体）



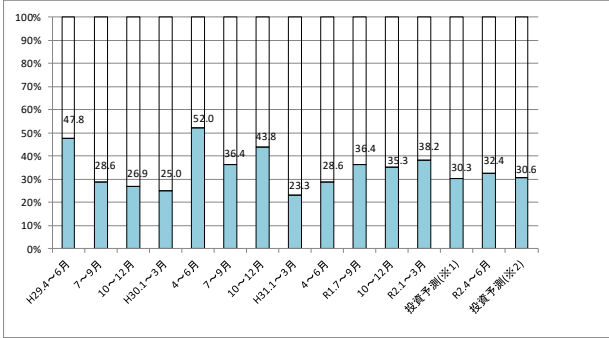
##### 投資予測※1

前回調査（1～3月期）における向こう1年間の投資計画

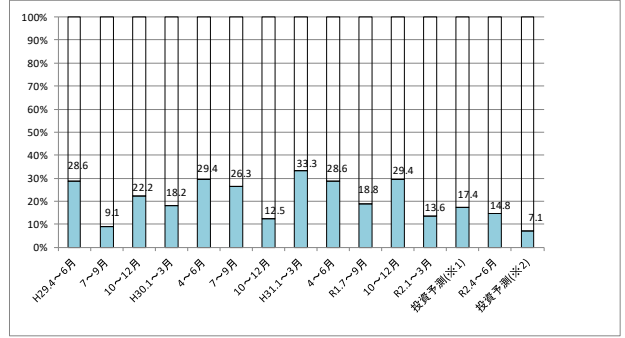
##### 投資予測※2

今回調査（4～6月期）における向こう1年間の投資計画

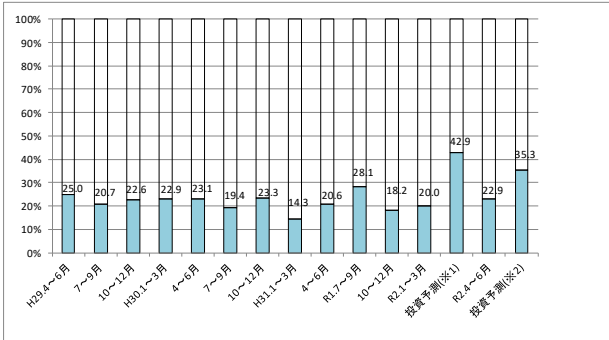
参考図 設備投資の推移(建設・土木業)



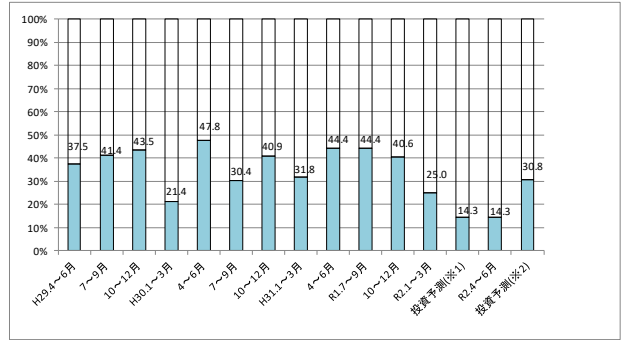
参考図 設備投資の推移(飲食業)



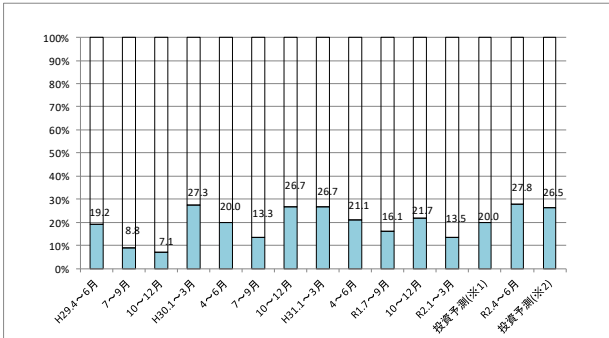
参考図 設備投資の推移(製造業)



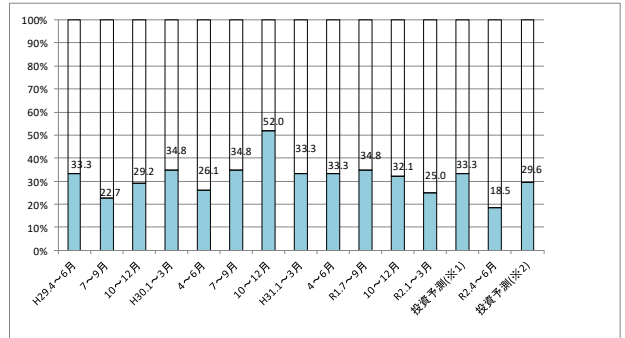
参考図 設備投資の推移(旅館業)



参考図 設備投資の推移(卸売・小売業)



参考図 設備投資の推移(その他)



景気動向調査結果業種別集計表

令和2年 4月～6月期

(単位：%)

項目	比較区分	状況	産 業 全 体	建 設 土 木	製 造	卸 ・ 小 売	飲 食	旅 館	そ の 他
販売高 出荷額 工事高	(今期) 前年同期と比べて	10%以上増加	2.6	2.7	2.9	5.4	0.0	0.0	3.7
		3%以上10%未満増加	3.1	2.7	5.7	2.7	0.0	0.0	7.4
		横ばい	9.4	24.4	11.4	5.4	0.0	0.0	11.1
		3%以上10%未満減少	15.1	43.2	5.7	18.9	3.6	0.0	11.1
	(今期) 前期と比べて	10%以上減少	69.8	27.0	74.3	67.6	96.4	100.0	66.7
		10%以上増加	5.2	0.0	8.6	5.4	0.0	3.6	14.8
景気の動向 自社の景気	(今期) 前期と比べて	3%以上10%未満増加	5.2	11.1	5.7	2.7	3.6	0.0	7.4
		横ばい	14.2	30.6	14.2	10.8	3.6	10.7	11.2
		3%以上10%未満減少	16.2	38.9	2.9	16.2	7.1	3.6	25.9
		10%以上減少	59.2	19.4	68.6	64.9	85.7	82.1	40.7
	(今期) 前期と比べて	上昇した	2.6	0.0	2.9	2.7	0.0	0.0	11.1
		やや上昇した	6.3	5.4	11.4	8.1	0.0	3.6	7.4
		横ばい	17.3	35.2	14.3	13.5	7.4	7.1	22.3
		やや下降した	16.2	40.5	0.0	18.9	11.1	3.6	18.5
	(来期見込) 今期と比べて	下降した	57.6	18.9	71.4	56.8	81.5	85.7	40.7
		上昇する	3.7	0.0	2.9	0.0	7.1	14.3	0.0
		やや上昇する	15.2	10.8	14.3	22.2	10.7	17.9	14.8
		横ばい	26.2	29.8	14.2	33.3	25.0	17.8	37.1
(来期見込) 今期と比べて	やや下降する	18.8	35.1	28.6	16.7	14.3	3.6	7.4	
	下降する	36.1	24.3	40.0	27.8	42.9	46.4	40.7	
	過剰である	13.2	2.7	11.4	8.3	25.0	25.9	11.1	
	やや過剰である	17.9	10.8	20.0	19.4	21.4	22.2	14.8	
雇用人員	(今期) 今期水準	適正である	51.5	48.7	60.0	61.2	42.9	44.5	48.2
		やや不足している	13.2	32.4	5.7	11.1	10.7	0.0	14.8
		不足している	4.2	5.4	2.9	0.0	0.0	7.4	11.1
		過剰となる	5.3	0.0	5.7	8.3	10.7	3.7	3.7
	(来期予想) 来期水準	やや過剰となる	20.5	16.2	22.9	13.9	28.6	22.2	22.2
		適正である	53.2	46.0	57.1	66.7	50.0	51.9	44.5
(来期予想) 来期水準	やや不足する	16.8	35.1	11.4	11.1	10.7	11.1	18.5	
	不足する	4.2	2.7	2.9	0.0	0.0	11.1	11.1	
	設備投資した	22.6	32.4	22.9	27.8	14.8	14.3	18.5	
	設備投資していない	77.4	67.6	77.1	72.2	85.2	85.7	81.5	
設備投資	(来期以降) 計画(向こう1年)	//を計画している	27.0	30.6	35.3	26.5	7.1	30.8	29.6
	//を計画していない	73.0	69.4	64.7	73.5	92.9	69.2	70.4	
資金繰り	(今期) 前年同期と比べて	楽になった	2.6	0.0	11.4	2.7	0.0	0.0	0.0
		やや楽になった	4.7	5.4	5.7	8.1	0.0	0.0	7.4
		横ばい	35.7	67.6	31.5	43.3	14.2	11.1	33.4
		やや苦しくなった	18.3	21.6	11.4	21.6	17.9	7.4	29.6
	(今期) 前期と比べて	苦しくなった	38.7	5.4	40.0	24.3	67.9	81.5	29.6
		楽になった	2.6	0.0	11.4	2.7	0.0	0.0	0.0
(今期) 前期と比べて	やや楽になった	7.9	2.7	8.6	13.5	0.0	3.7	18.5	
	横ばい	36.7	73.0	28.5	43.3	14.2	18.5	29.7	
	やや苦しくなった	16.2	21.6	8.6	18.9	17.9	14.8	14.8	
	苦しくなった	36.6	2.7	42.9	21.6	67.9	63.0	37.0	
原材料購入 購入価格、 仕入価格等	(今期) 前年同期と比べて	上昇した	5.3	2.7	2.9	11.1	7.1	7.4	0.0
		やや上昇した	25.4	43.2	26.5	25.0	14.3	18.5	18.5
		横ばい	53.4	54.1	61.8	44.5	60.7	40.8	59.3
		やや低下した	5.8	0.0	0.0	11.1	3.6	11.1	11.1
	(今期) 前期と比べて	低下した	10.1	0.0	8.8	8.3	14.3	22.2	11.1
		上昇した	3.7	2.7	2.9	5.6	3.6	7.4	0.0
(今期) 前期と比べて	やや上昇した	22.8	35.1	20.6	36.1	10.7	14.8	11.1	
	横ばい	60.2	62.2	67.7	44.4	67.8	51.9	70.4	
	やや低下した	3.2	0.0	0.0	5.6	3.6	3.7	7.4	
	低下した	10.1	0.0	8.8	8.3	14.3	22.2	11.1	

## 【参考資料】

### 工業指標

(単位:件,人,万円)

区 分	24年	25年	26年	28年	29年
事業所数 (指数)	210 (100)	201 (95)	195 (92)	183 (87)	177 (84)
従業者数 (指数)	5,439 (100)	5,504 (101)	5,267 (96)	5,330 (97)	5,277 (97)
製造品出荷額等 (指数)	11,898,399 (100)	12,042,054 (101)	12,374,170 (103)	14,709,104 (123)	14,013,754 (117)

(指数:平成24年=100)

工業統計

### 商業指標

(単位:店,人,百万円)

区 分	26年	27年
商店数	1,414 (100)	1,428 (100)
従業者数	7,820 (100)	8,006 (102)
商品販売額	207,059 (100)	226,265 (109)

商業統計、経済センサス

### 月別観光入込数(高山市全域)

(単位:人)

	観 光 入 込 数			
	R2年	31年	30年	29年
1月	439,000	388,000	378,000	402,000
2月	241,000	306,000	296,000	285,000
3月	133,000	263,000	288,000	303,000
4月	47,000	556,000	533,000	608,000
5月	19,000	592,000	515,000	590,000
6月	75,000	231,000	227,000	229,000
7月		281,000	243,000	291,000
8月		469,000	442,000	465,000
9月		343,000	297,000	331,000
10月		570,000	524,000	501,000
11月		435,000	401,000	354,000
12月		299,000	298,000	264,000
累 計	954,000	4,733,000	4,442,000	4,623,000

観光課資料

有効求人倍率(飛騨管内)

	有効求人倍率	
	R2年	31年
1月	1.68	1.38
2月	1.38	1.46
3月	1.35	1.57
4月	1.21	1.66
5月	1.01	1.66
6月	1.00	1.77
7月		1.80
8月		1.87
9月		1.84
10月		1.73
11月		1.68
12月		1.86

高山公共職業安定所資料

月別観光入込数(高山地域)

(単位:人)

	観光入込数	
	R2年	31年
1月	298,000	226,000
2月	155,000	210,000
3月	66,000	199,000
4月	23,000	512,000
5月	11,000	538,000
6月	48,000	187,000
7月		178,000
8月		286,000
9月		248,000
10月		543,000
11月		410,000
12月		290,000
累計	601,000	3,827,000

観光課資料